

助成事業実施報告書

2025年 1月 29日

助成事業実施報告書

団体名 NPO 法人 Lien

代表者・役職名 氏名 理事長 兵頭 さおり

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

子ども食堂リアン

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

地域のスペースをお借りし、お弁当配布をおこないました。

このプロジェクトは、こども食堂でお弁当を配布することで、食事の手間を省き、家族が一緒に食事をしながらコミュニケーションを深めることを目的としています。さらに、地元企業からの協賛品(例:かつおぶし)を併せて配布し、地域社会との連携を強化しました。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

9月9日、10日、16日、17日、23日の5回開催しました。

総配布数 600 個(事前予約制)

利用者層: 幼児～小学生を子どもに持つ子育て世帯(平均家族構成人数 5名)

複数回利用される方が多かったため、事業の目的をお伝えすることと、経過の確認をするため、コミュニケーションの一環としてヒアリングしたところ、「意識して子どもと会話する時間を設けたところ、これまであまり聞けなかった話が聞けた」、「せきを切ったように学校での出来事を話してくれた」という、親子間でのコミュニケーション改善に貢献できたお話や、「偏食が改善した」、「普段は食べないので、お弁当だと食べてくれた」など、食育に関してもポジティブな意見うかがうことができました。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

毎回感じることですが、こども食堂利用者さんは大体毎回同じような顔ぶれで、もしかすると本当に支援が必要な人には度解いていないのかも?と思っています。

ひとり親家庭、貧困家庭にはどのようにアプローチすればよいのかというのが一番の課題を感じています。

また、「施しを受ける」という惨めなイメージを持っていらっしゃる方も少なからずおり、顔を伏せながらそそくさと帰っていく人はまだ良くて、そもそも申し込みすらしない(したくない)人もいるかもしれません。

一度利用してくれればネガティブなイメージを変えられるとは思っていても、なかなか手段が思い浮かびません。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください



9月 9日(土) 10日(日)

料金：無料

時間：11時30分～13時00分

※引取時間厳守でお願いします。店舗の営業もあるため、時間過ぎての配布はいたしかねます。

場所：IYO夢みらい館2F料理研修室
(伊予市米漬768-2)

リアン ども食堂

LINE公式アカウントより
ご予約ください



主催： Lien
NPO法人リアン <https://npolien.org>

本事業は令和5年度「農林水産省 こども食堂 支援助成事業」により助成され実施します。